

■令和 6 年 9 月定例記者会見

日時：令和 6 年 8 月 28 日(水)午後 2 時～3 時

場所：吹田市役所高層棟 4 階特別会議室

吹田市広報課

それでは、記者の皆様から、これまでご説明させていただきました内容についてご質問を受けたいと存じます。それでは、よろしくお願いします。

記者

すいたフェスタなんですけど、タダで参加できるイベントなんですか？

吹田市シティプロモーション推進室

市民の方は無料で参加できます。万博記念公園入る前の西口と日本庭園と中央口の前にあるインフォメーションセンター前で、市民の方が無料で入れるチケットをお配りしていますので、吹田市民であれば無料で入れます。

記者

チケット事前販売ではなくて、当日吹田市民ですと言ったら当日現地で受け取れるという？

吹田市シティプロモーション推進室

そうです。当日限定で使える万博記念公園に無料で入れるチケットをお配りします。

記者

これ、3 回目ということなんですかね？

吹田市シティプロモーション推進室

はい。3 回目です。

記者

だいたい、1 回目と 2 回目と何人くらい来たかわかりますか？

吹田市シティプロモーション推進室

だいたい 2 万人手前くらいです。1 万 7 ～ 8 0 0 0 人。2 万人弱くらいかと。毎年来られていますね。

記者

無料で入れるイベントとしてはだいぶ豪華だと思うんですけど、その辺は何か市の予算とかでやっている感じなんですか？

吹田市シティプロモーション推進室

半分以上は協賛金です。市の補助金も一部入っておりますけれども、プログラムに載せさせていただいております市内業者の方々、今年はかなり皆さんから予算をいただいて。というのと、あとゲストへのギャランティーも皆さんが想像しているより払っていないです。吹田市出身なのでとか、吹田市にゆかりのある方なのでということで、こちらからオファーしたのもありますし、向こうから出たいと言ってくれることもあるので、ギャラについてはかなり安く来ていただいているので、その辺はコストがかかっていないというか、見えるよりかかっていません。

記者

ゴスペラーズさんとかダイノジさんとかも、通常よりかはだいぶお安く？

吹田市シティプロモーション推進室

そこは言えないくらいにお安くなっています。

記者

ちょっと何らかの形で当日行けたらと思っています。

吹田市シティプロモーション推進室

お楽しみいただければと思います。

後藤市長

濡れても良い恰好で来ていただいて。

記者

カメラがあるんで。

辰谷副市長

スプラッシュパーティーだけ気をつけていただいて。それ以外は大丈夫ですよ。

記者

スプラッシュパーティー良いですね。面白そうですねというのもありますし、絵的にも栄

えますし、結構今トレンドというか、何かお湯かけ祭りとかもあるじゃないですか。吹田じゃないところで、お湯のぶっかけ祭りとか。そういう最先端いつているなど。

吹田市シティプロモーション推進室

ありがとうございます。これは吹田市消防さんの全面協力で。消防さんの協力なしではできないんで。それとあと、水道ですね。水道さんの事前準備が色々入りますんで。

記者

あと、消防のインスタなんですけど、フォロワー数全国 1 位というのはどこ調べで 1 位ですか？

吹田市消防本部総務予防室

各消防本部公式で出されているところを、一つ一つ地味なんですけれど拾っていかせていただいて。多いところでは、尼崎市消防局さんが約 6.1 万フォロワーで、多分全国 2 位だと思います。その次が岡山市消防局さんと大牟田市、九州なんですけれども、大牟田市消防本部さんで 3.3 万フォロワーぐらいです。

政令市では、名古屋市消防局さんで 1.6 万フォロワー、大阪市消防局さんでしたら 8,900 フォロワー、神戸市消防局さんでしたら 6,500 フォロワー。京都市さんでしたら 6,100 フォロワーという形です。

記者

本件に限らず、全国 1 位というときって、その情報ソースが何なのかというのが大事でして、それでいうと全国 1 位というのは吹田市消防本部さんの調べということですか？

吹田市消防本部総務予防室

そうです。

記者

吹田市消防本部さんの調べでは全国の消防本部で公式インスタグラムを持っているのは何か所というか、何組というか、どれぐらい？

吹田市消防本部総務予防室

そこまでの数は調べ切れてないです。

記者

母数がわかればなと思ったんですが。

吹田市消防本部総務予防室

調べて回答させていただきます。

記者

わかりました。要は5個しかないうちの1位なのか、100個あるうちの1位なのかで、話が変わってくると思うので。

ちなみにさっき見せていただいた動画の最後、人間とは思えない動きをしていたんですけど、あれは倍速再生しているとかではない？

吹田市消防本部総務予防室

ではないです。

記者

ではなく、本当にあの速さで動いているということ？

吹田市消防本部総務予防室

もう一度ご覧いただきます。

～動画視聴～

記者

今の加工無しですか？

後藤市長

大会で0.1秒を競っているんです。100分の1秒まで数字が出る。

吹田市消防本部総務予防室

対岸まで20mあるんですけども、4秒から5秒くらいでいきますので、まさに加工はしておりません。

記者

加工していない、ありのままの実力だと。わかりました。

辰谷副市長

阪急の南千里駅のホームから見えるところでやっています。ですからみんな見られている

意識で、必死でやっています。

記者

見逃しそうなくらい早いですがね。
わかりました。ありがとうございます。

吹田市広報課

ほかにご質問はありますか。

記者

南千里のあそこの教育センターのところでやっている様子ですね。そうすると、4月にできているということは、4月以降いつアップしたものになるの？

吹田市消防本部総務予防室

6月5日くらいだったと思います。

記者

これが6月5日。救出1の方ですね。約3か月くらいで2760万回再生なったという、そういう見立てでよろしいですか？

吹田市消防本部総務予防室

すいません。(救出1は)6月9日でした。

後藤市長

一瞬でポーンとあがった。じわじわではないんですよ。

記者

緊急脱出はいつアップになりますか？

吹田市消防本部総務予防室

(救出1の)1週間後になります。6月16日です。

記者

ロープブリッジ救出後半は？

吹田市消防本部総務予防室

後半が少し空きまして、7月の7日になります。

記者

全部、南千里の北消防（署）の訓練所でやった訓練ということですか？

吹田市消防本部総務予防室

おっしゃる通りです。

吹田市広報課

他にご質問はございますでしょうか？

後藤市長

もともと市民から見えないところで彼らは（訓練を）していたんですよ。

実にもったいない。見て欲しいなと思って。というのもあって、南千里に消防の庁舎を作った時の最初の設計でホームからズバッと見えるところでやってもらおうと。そしたらやっぱりアドレナリンも沸きますし、全国大会行って、全国3位になった。一連つながっていると思うんですよ。よくこういうインスタ出してくれたなと思います。指示でも何でもないです。

記者

ホームから見学されている乗降客も多いんですか？ホームからも丸見えですからね。

吹田市消防本部総務予防室

今の映像でも後ろの方に光が映っているんですが、あれがホームになりますので、ちょうど電車を降りられた方が、声も出しもって訓練していますので、ちょっと覗いて行ただけ。市長もおっしゃっていたように、見やすい高さになっています。

吹田市広報課

ほかにご質問ございますでしょうか？

記者

後藤市長に一言コメントをいただきたいんですけど、吹田市消防本部のインスタがバズって、PRにつながってということにも関して、市長としての受け止めはいかがですか？

後藤市長

消防だけではないと思いますね。市民から見えにくい仕事っていうのはたくさんあります。行政はそれを担っていますので。例えば下水道それから水道、道路整備。それから障がい福

祉もそうなんですけど。見えている仕事の方がはるかに少ないと思います。その裏で行政、公務員というのはこれだけ一生懸命やっているんだということが伝われば。その代表例として消防。火事の時しか見えませんが、火事、救急しか。市役所の仕事ってありがたいな、心強いな、プラスじゃあちょっと（採用試験を）受けようかと思う。そういうのにつながれば。今、公務員の人気がどんどん減っているみたいですけど、吹田市はそうじゃないですけど、こういう PR 営業の視点というのは、私はあらゆる場所で必要だと思っています。まさにそれを感じます。

記者

来期の新規採用というか、消防本部を受ける人が？

後藤市長

めちゃめちゃ増えると思います。

辰谷副市長

募集状況が出ているので。

吹田市消防本部総務予防室

8 月 21 日時点で試験に 359 名、今年の応募が来ています。

記者

前年度と比べてどうなんですか？

吹田市消防本部総務予防室

前年度も 357 なんですけども。そのうち一般コースと救急コースというように分けて募集をしております。女性を含めた割合も上がってきています。

記者

8 月 21 日時点で 359 人ということなんですけれど、前年度はいつからいつまでの期間と、計何人ですか？

辰谷副市長

毎回募集ですから 1 か月からそれくらいの期間で動いている。

記者

この 8 月 21 日での数字っていうのが、だいたい 1 か月くらいでこの数字なのか、1 週間、

2週間でこの数字なのかでだいぶ変わってくるという感じなのかなと。

吹田市消防本部総務予防室

8月3日から募集を開始しております。

記者

3週間弱というところですか。

前年度は約1か月で350人くらい？

吹田市消防本部総務予防室

通常、今回の募集につきましては来年の4月採用の応募ということでさせていただいております。前年度に関しましては、10月採用とあと翌年、今年の4月採用という2回させていただいております。10月の分に関しましては、350名の方の応募がございました。この4月の採用の分に関しましては今回と同じような募集ということなんですけれども、そこでは180名くらいの応募がありました。

記者

ということで言うと、倍増したと言えるわけですね。4月採用というくくりで言うと。

8月21日で359人ということは4月1日採用の人たちですよ？そしたら倍増したとも言えるということですね。

辰谷副市長

秋の募集というのはほかの消防本部が募集しているところが少ないので、ちょっと多かったんだと思います。

記者

なるほど。ありがとうございます。

ということで、実際数字にも表れているということなんですけれど、後藤市長としてはどうですか？

後藤市長

（消防に）入ってからだと思います。彼らが一番思っていると思いますけれど、1万人来ようが2万人来ようが、100人であろうが、入った限りは消防本部が抱えますので、どう一人前に仕上げていくかという、そこだと思いますね。

例えばロープブリッジが早い、イコール現場でリーダーになれるのかというような話ですよ。やっぱり経験値ってありますから、基本的な技術と経験と、それから腹すわっているみ

たいなもの。それは消防からも聞くんですけど、それぞれにチームで消火活動やりますから、まずはこれ技術です。入ってくるのはゼロです。それをどう仕上げていくかというのは、一定の年数掛かりますので、それは消防本部の力次第ですね。

記者

応募が増えているという目に見える効果がこれによって表れている、これだけじゃないかもしれないですけど、現れているというのは成果かなと思うんですけど。

後藤市長

今の消防の職員の気持ちにとって大きいと思います。ああ、そう見られているんだな。我々の仕事を評価されているだなど。それから応募が少ないと、いや、別に教員の話はしませんが、3倍かというのと、20倍というのは、居てるものからすれば気持ちが違いますよ。そういう効果はもちろんあると思います。

記者

ありがとうございます。

吹田市広報課

他にご質問ございませんでしょうか？

記者

すいたフェスタの件で、社協の会長の方がご挨拶されているということは主催というか、実行委員長ですか？

吹田市シティプロモーション推進室

おっしゃる通り、実行委員会の会長になります。

記者

これは毎回変わる？

吹田市シティプロモーション推進室

そうです。毎年変わっています。

記者

わかりました。ありがとうございます。

吹田市広報課

他にご質問ございますでしょうか？

記者

市長に冒頭でちょっとご説明いただいた、地域手当が大阪市と並んで第2ランクになったということを、驚きを持ってというようなことを市長も説明されていたんですけど、確かに吹田は本当に人が増えていると。この状況でここまで、特別市でも吹田市がこういうランクに入るとするのは、結構画期的なところ、びっくりするくらいのレベルなのかなと感じますが、市長はどう分析して受け止めているのかなと、教えていただきたい。

後藤市長

単に人口が増えるだけではこうはならないと思うんですよ。これ、当該地域の民間賃金を反映したというのが基本データになりますから。増えているうえに、賃金の平均値が高い。総賃金じゃないですから、来られた方がそこそこその賃金をもらっているということの証明だと思います。

記者

なるほど。

後藤市長

公務員はそんな上がっていないですけど。そういう転勤族もそうですし、お医者さん、弁護士さんも山ほどいますけど、そういう方々が住みたい街になっているという。プラス人口も増えているという。その両面ですね。そこを評価されたと思うんですけど。吹田今は2級ですけども、3、4、5の市の名前を見て、いや、それほど差があるのかなっていうのは。お前が言うなという話ですけども。西宮市さんなんか、1つ下なわけなんですよ。

記者

関西圏ではNATSという動きがあると思いますが、そういうところから考えたら、その中で吹田市が1つ抜けている感じもしないでもない。

後藤市長

それは申し訳ない。私が決めたのではないので。

みなさん色々あると思います。不満もあると思います。16%と12%のあいだが連続的に変化しているので、スパッと線を引かれることに対してそれはあると思います。

記者

高く評価を受けているということの表れなのかなとも思うんですが、そのあたりはどうですか？

後藤市長

いろんな評価がある中で、あえてご紹介させていただいたのは、これは非常にインパクトが大きいです。エビデンスがしっかりし**て**ますので。

これを宣伝材料に使おうとか、一切無いです。そう決められただけですから。逆に物価が高いかもしれないですから、そうでない人にとったら住みにくいかもしれません。マンションも高いです。

吹田市広報課

他にご質問はございますでしょうか？

幹事社様よろしいでしょうか？

幹事社

大丈夫です。

吹田市広報課

では、閉会を前に記者の皆様へお知らせがございます。お手元の資料2をご覧ください。

本市では9月4日の金曜日に、パリオリンピックにてレスリング男子フリースタイル57キロ級で金メダルを獲得されました樋口黎選手に対しまして、吹田市長特別賞の贈呈式を行います。樋口黎選手は吹田市出身で、平成28年にはリオデジャネイロオリンピックで銀メダルを獲得され、その当時吹田市長賞を贈呈しております。

今回贈呈予定の吹田市長特別賞とは、市長賞を受賞したことがある方が市長賞受賞の際の功績を上回る功績を挙げた場合に受賞できるもので、本市としては1人目というふうになっております。9月6日当日のお時間につきましては、午後1時から2時で贈呈式、その後に樋口黎選手に対する取材のお時間をお取りしておりますので、ぜひご参加いただければと思います。

記者

PR案件以外の質問をこれからよろしいですか？

吹田市広報課

どうぞ。

記者

万博のモノレールの駅前に建設計画が進むアリーナについてなんですけれども、5月の近畿市長会で（市長から）アリーナ建設を進めているという発言がありまして、ただ、この事業の管轄としては建築審査会を経ての作業があると聞いています。それを飛ばしてのあたかもできるかのような発言の真意はどういったものだったのでしょうか？

後藤市長

少々のリップサービスも入っているんですけど、当初から申し上げているのはハードルを越えてください。ハードルを越えてもらったらウェルカムと言いますというのは、事業者さんへ直接伝えています。そういう意味でウェルカムと言わせてくださいという意味を込めています。

記者

それで、市長自身がアリーナ建設に前向きだと思われると、そういう環境アセスであるとか、建築審査会に影響があるとかは？

後藤市長

全くないです。学者の先生方ですから。

記者

そこは考えてないですか？

後藤市長

それはないです。

記者

改めて市議会は2度にわたって、アリーナ建設とともに住宅建設を認めないという決議を2度されている。それは非常に重い議決だと思うんですけども、市長の改めてアリーナ建設の考え方、受け止め方というか、どういう風に考えていますか？

後藤市長

基本的にアリーナができる、横浜、埼玉、そして西日本初の吹田のアリーナができる。そういう話については、基本的にウェルカムです。ただし、例えば地域の方、関係の方々が不安に思うような課題については、事業者の責任として全部潰してくれと。それが前提となりますので。基本的にウェルカムというのは変わりません。吹田にとって、北大阪、西日本にとって文化スポーツの核になるような施設が計画をされていると。

そのことについては、既に多くの方々からも期待の声はいただいています。ただし、近隣の

交通の問題とか、工事中のこともありますし、その辺で不安の声はお聞きをしていますので。我々は誘致したわけじゃないですから、あくまでも受け身です。事業者がしっかりと仕事をしてもらうのを期待しています。

記者

あの土地はもともと山田地区の住民の方たちの土地で。

後藤市長

ニュータウン全部山田の人の土地ですから。

記者

市民の方、住民の方から言いますと、万博をするというから土地を気持ちよく提供したのに、そこに今、他人のマンションができるということに拒否感があるのは、感情的には私なんかは共感できるところもあるんですけども、そういう意味で先に市民の方が反対の声を上げていることについては、市長どのようにお考えですか？

後藤市長

何人かの方からそういうお声を聞くことはあるんですけども、やはり無償で提供した、取り上げられたわけではないというのは（住民の方は）わかっておられます。ちゃんと売却して、所有権は移転をしていますので、その思いがあるのは私も理解はしますけれども、法的にどうかと言われると。ノスタルジーな気持ち、それはわかるんですよ。ただし、それは今言いましたように、万博の会場全部、というか千里ニュータウン全て、あれ山田村のものですから、それぞれに思いはおありなんでしょう。

記者

社協のハラスメントの問題なんですけれども、前回の会見で報告書を求めているという形で、3か月経ちましたけれども、今のところ担当課によると報告書は来ていないし、出すつもりもないという回答があったというふうに聞いております。それで、市長自身があの場で取材よりも先に、報告書が先だとおっしゃったので、私の取材に支障が出ております。つまり、社協が取材に答えない。それをお認めになった形になってしまっているのです。会見の最後に報告書がなければ、次の動きを考えるとおっしゃっていましたが、次の動きというのはどういうことで、いつごろ何をするかというのは今考えてらっしゃいますか？

春藤副市長

これは私の方でご説明します。ちょっと違うんですけど、向こうから事案解決に向け、今取り組んでいるところで、慎重に調査されているというふうに聞いていて、その結果が入れ

ば市へ速やかに報告をするというようにお聞きをしています。ちょっと受けとめ方が違うと思いますし、前回の時も少し時間がかかるのではないかと。いろいろもう一回精査をしてくださいということ言っているわけで、そこはもう少し時間が必要だというふうに認識を持っていますので、まだ待っている状況ではあります。その時期にはまだもう少し時間が必要なのかなというふうに考えていて、まだ向こうの中での内部調査とか、いろいろと協議とかされているとおもっています。

記者

事案解決の具体的には何を指していると聞いてらっしゃいますか？

春藤副市長

そこまでは当事者同士で話し合いをされているんだろうというふうに推測はしています。

記者

問題がわかって 9 か月。市長が報告書を出すように言って半年が経っていて、その間ハラスメントを一番そばで見してきたであろう局次長が先日退職することになりました。市の対応は言っているだけで、この間実行力も伴っていないと思うんですけども、本当にやる気というか、出させる気はあるのか？

後藤市長

退職の話は聞いたことが無い。どこでお聞きになりました？

記者

それは取材していれば入ってくる。

後藤市長

取材で入ってくる。そういうことですか。取材先の方がそれをおっしゃった。

記者

それはあるじゃないですか。記者なので。それはさておき、報告書の提出に対して、非常に影響がでるのではないかと懸念はしているんですけども。9 カ月経っていますよね。それでまだ時間がかかると言われても。なかなかそれで待ってて出るのかなと。つまり、複数の被害者がいらっしゃるわけで、被害者の方からすると、結局何も対応がないまま時間が過ぎていくというのは非常に苦しいんじゃないかな。本当に市長としてこれはきちんと報告書を求めるんだという気持ちはあるということで良いんですか？

後藤市長

副市長からあったように、社協が全く動いていないのであれば、動きを促すようなことはもちろんします。促すという言い方は、市の団体ではないので。あくまでも独立した外部の団体なので、促すという言い方が適切だと思うんですけど。指示、命令、それから立ち入ってという話ではないです。ただし 9 カ月というのが長いか短いかというのはあるんですけども、正確を期すために、社協が動いているということをちゃんと把握をしている中で、これはまだ、向こうの反応、整理、報告を待とうというのが現段階です。

記者

兵庫県知事がパワハラ問題にしても、やはり当事者というのは非常に声を上げにくい。また、組織のトップが加害者である場合、組織を抑え込むというのが無条件に行われているわけですが、吹田市の社協もトップによるハラスメントで、社協による調査に限界があるのであれば、きちんと指導、助言する立場である吹田市は、何か調査なりするべきではないかなと思うんですが、そのつもりというのはありますか？

後藤市長

兵庫県の事例はここで出すべきじゃないと思います。まだ明らかになっていませんので。それは置いておいて、外郭団体であり、やっぱり関連する団体ですので、我々はそこを意識せざるを得ない。どういうガバナンスが働いているか。だからご質問にお答えしているわけです。もし、「いやいや、外郭団体ですから」、「いや、民間企業ですから」であれば、この質問にお答えしません。関係ありませんから。これで御理解いただきたいと思います。

記者

であるならば、2018 年にも福祉総務室に匿名で事務局長に対するハラスメントの通報があり、福祉総務室から社協の方に連絡がいき、副会長が指導をしていると。過去にそういう事例もある中で、今回また起きていると。全くその社協の対応を見ていると、市への要望を軽く見ているんじゃないかなという気がするんですけども、これはいかがですか。

後藤市長

そこまで詳細に私は状況を理解していないですけど、少なくとも共に仕事をしてきた社協がそういう体質であると私は理解できないですね。私は理解していないですね。ひょっとしたら、おっしゃるとおりかもしれませんけど、私の方が多分付き合いが長いので。お互いの信頼関係の中で仕事をしてきていますので、ガバナンスの能力、その動きについても今信頼している。そういう状況です。

記者

市長自身すいたフェスタの会場に来るかわかりませんが、共同募金という場で社協の関係者に会う機会もあるかと思います。そういう場で直接市長の方からきちんとそこやってくださいみたいな声かけは？

後藤市長

それは越権行為だと思います。まずは今、担当が社協とやっていますので。逆に私がそこにバイアスをかけるようなことは適切ではないと思います。

春藤副市長

独立した管理運営事項、人のマネジメントの話だと思うので。お聞きしているのは、お互いの弁護士の方も入って話し合いをしているとおっしゃっているので、それを待つべきだろうという風に感じている次第です。もう少し話し合いが行われるだろうと。

記者

それは一人ですよね？

春藤副市長

詳しくは聞いていませんけど、お互いに弁護士を立ててお話をされているという風にお聞きをしている。その段階です。それ以上のことは私は聞いておりませんので。あと、先ほど元福祉部長が注意したというか、助言をしたということで聞いていますけれど。独立した法人ですので、越権行為というか関与になってしまいますので、それはやっぱり避けるべきだと思っているところもありますので、そこでもう少し時間をかけて見守りたいというのが我々の思いです。

記者

部長は社協の理事も務められている。つまり当事者でもあるわけですよね。内部の人間でもあると思うので、そこは決して越権行為にならないと思うんですけど。

春藤副市長

だから、部長の立場としては助言だと私は考えていますけれど、ちょっと当時のやりとりを私は詳細に聞いておりませんので、そこは判断しかねるなとは思っています。ただ、正直、人間関係がうまくいっていなかったことが事実なんだろうなとは思いますが。今後の活動もありますから、それは話し合って修復していただきたいなと。

記者

わかりました。以上でありがとうございます。

吹田市広報課

それでは、令和６年９月定例会の記者会見を終わります。本日はありがとうございました。
ありがとうございました。